

タナック

# 動画活用で記述伝承

## 品質・生産性向上に寄与

タナックは、GHSラベル発行システム、ラベルプリンター販売を主力としているが、新たな事業として昨年から製造業における悩みを解決する技術伝承システム「ZUKI」の普及を推進している。

システムの最大の特長は、動画を活用し、製造

業における技術伝承、品質の向上、生産性の向上、不良率の低減などに寄与することである。ものづくり企業を支援するツールとして評価されている。

動画や写真がベースで、従来のように文字や指導員の口頭による説明ではないので練習生の理

解度が向上する。指導用の動画は、データベースで保存整理されるので、誰でもいつでも容易に自習が可能だ。

「2画面の比較動画」によって熟練者と練習生のムタ・ムリ・ムラといった作業の違いが見え、それらを改善して標準作業に改め効率的な生産を行

うことができる。

動画を用的ことで、指導者の負担が軽減でき、現場以外でも、落ち着いてコーチングができる。改善前・改善後をビジュアル記録して「見える化」することで練習生もさまざまな質問ができる。

また、作業手順書・作業要領書として活用することで、作業者のミスが減り作業がスピードアップされる。

機能面では、動画から簡単に時間観測ができる。一つの動画を動作要素ごとに区切ることや、複数の工程別の動画を同時に取り込んで、工程の細分化ができるなど、目的に合わせた活用が可能。

システム導入のメリットとしては、誰もが同じ基準やルールに則った手順と継続的なカイゼンPDCAを回していくことによるポトムアップが図れる。

高い塗装品質のスキルを取得するには長期な時間が必要だが、科学的な手法を用いた技術深化・ITを使ったノウハウ承継でこの時間を短縮することが可能である。

動画を使って現場を忠実に再現することでムタを顕在化、改善後に標準作業化、それをデータベース化してさらにPDCAサイクルを回す。その結果残ったコンテンツは単なるカイゼン報告書にとどまらず、自社にとって貴重なノウハウになる。

技術承継、人材確保（外国人労働者含む）、業法変化（例：障害者雇用促進法で令和3年3月1日からは法定雇用率は2・3%と引き上げられるなど）などへの対応は待ったなしの状況にある。その解決策としても有効である。

06・62664・11  
35